

皇居東御苑を公開

江戸城史の探索にも

皇居東御苑が十月一日から一般に公開されています。御苑は、南は皇居外苑に接し、更に日比谷公園に続き、北は現在公園化の進んでいる旧江戸城の北の丸地区に隣接し、これらの地区を一丸とした緑地帯の中心となるべき位置を占めています。またその区域は江戸城跡のうち本丸、

二の丸の全域と、三の丸の一部およびこれに接する濠の部分からなり、桔梗門（内桜田門）、大手門、平川門および北桔梗門をもって皇居外苑に通じ、乾門および坂下門を結ぶ道路をへだてて吹上御苑、紅葉山下、旧西の丸の各地区に接しています。なお御苑内には天守閣跡、

櫓、多聞、番所などかずかずの遺構が保存されており、庭園美の観賞とあわせて旧江戸城の歴史を探さくするすすがにもなりましょう。と宮内庁では言っています。

公開されるのは宮中行事のある日、月曜日と金曜日、年末年始の休園日を除く毎日、大手門、平川門および北桔梗門から入園できるとのことです。

宮内庁では宮中行事に支障のない限り広く一般に公開し、できるだけ多くの人々が緑地や林泉の美を観賞されるよう希望していますが、御苑は皇居と一体をなすものであり、宮中行事の場としての用途を持っているので、それにふさわしい体装なり格調の高さを持つよう造成されていますし、また常にその用途に応じられるように整備されています。

そのため動物をつれたり、酒に酔っていたり、危険物を持った者などの入園をことわり、また園内では運動競技、集会、示威運動、植物や魚鳥類の採取捕獲、物を売ったりはり札広告など、御苑の管理上支障のある行為は一切禁止されています。

ふる里の話題

恵比寿屋の仇討

仕置場で仇うち

刑場は恵比寿屋から十丁と離れない首切山という長く続いた松林の中にあつたので、お布れが出てからは恵比寿屋の近くの茶店には、時々罪人を送ってきた唐丸籠が休み、罪人に最後の白湯などを与える情け深い役人もいた。

ある日、一人の役人が恵比寿屋を訪れた。足ごしらえなどから罪人護送の途中と一目で判った。不審に思いながら取次にて女中頭のおなみに

「当家に十四、五才に相成る娘がおるか」と聞いた。

「はい、おつな様と申しまして当家の主でございます」

「あるじ？して父親はいかがした」

「八年、いえ九年前亡くなりました」

「九年前とナ、若しやこの店先で耳無権十という者に殺されたのではないか」

「はい、はいその通りでございますが、どうしてお役人様がそれをご存知で……」と聞き返す女中に、その役人は



写真は其の昔、仕置場であつた松林の一郭

意外なことを伝えた。

「今日打首になる罪人が、茶店の白湯を与えていると」

「自

分はもと耳無権十という博徒であつたが、金に困つて恵比寿屋という旅籠のあつた。その時そ

ばにいた女の子の恨みに満ちた眼に今も悩まされてい

る。どうせ死ぬ身ならばその娘の手にかかりたい」と言っている。

殺させるわけにはいかないが、木刀で打

有線加入者の異動

部 落	氏 名	番 号
新加入	石橋 興産	51-16
	宇野 保一	47-8
	海保 小忠	63-18
脱 退	川名 良志	47-8
	越推 高修	65-2
		85-16

刑場入口に来るよう」とい

うのである。

平素から口惜しさの一念に凝り固まっていたおつなとおなみの二人が、定められた刑場に馳せつけて見ると、どこで聞き出したのか「仇討だ」「敵討だ」と刑場を囲んだ竹矢来の周囲は大ぜいの人で埋めつくされ、刑場の中では後ろ手に縛られ、目かくしをされた耳無権十が荒庭に坐らされ、土俵を前にして更に俵の前には墓穴まで掘られ、すべて定法通り処刑の準備ができて打首の時刻を待っていた。

外のざわめきがひと際大きくなり、二人が役人に伴なわれ竹矢来の中に入った姿は役人の心づくしであろう、後鉢巻に白だすきといういで立ちで手には木太刀らしいものを持っていた。

「お嬢さま、此奴がお父う殺しの権十です！」。憎しみに満ちたおなみの声に目かくしをされたままの顔を向けた権十は、「すまねえことをいたしやした。存分打ちなすつて……」と深々と頭を下げる姿に、役人の許しも待たず走り寄つたおつなは、「憎い権十お父を返せッ」と叫びながら、その自分の声に誘われたように木太刀を振り上げて二打三打……五回とは続かず感極まったのか、おなみに抱きついて泣き伏してしまった。

「さあ、幾分気分も晴れたであろう。引取るがよい」と、役人に訓されてようやく立ち上つた二人が竹矢来の外に出た時、うしろで、ばさつ！という異様な音がして権十の首は胴から離れた。二人は振向こうともしなかつたし、また振向いてもその様子は見定め難いほどあたりには夕暗が迫っていた。

世の人々はこの騒動を「恵比寿屋騒動」と呼んで今に語り伝えていくという。

（この物語は、上町の或る老舗の当主から「先代の口伝」としてお聞きした筋をもとにして創作し、氏名その他殆んど架空のものであることを書き添えます。）

△文責在 広報子▽

